

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団 体 名	NPO法人北海道鉄道文化保存会			
事 業 名	北海道の近代化歴史遺産 旧手宮線を「花と鉄路の散策路」に			
実 施 期 間	平成28年4月～平成28年11月			
事業の目的及び期待する効果	<p>目的 / 「北海道の鉄道の発祥の地」の歴史的空間を住民の手によって、季節の花々が奏でるメロディーを楽しみながら歩きたくなる「花と鉄路の散策路」を創る思いを掲げて活動を進めた。</p> <p>効果/ 散策路を日々散策する市民が増え、季節ごとに咲く花を楽しみにしているなどの声を頂く事が今年は大変多かった。観光客も、花の写真を撮影したり、花の名前を聞かれるなど、昨年より多くの手応えが感じられ、参加しているボランティアスタッフの遣り甲斐に繋がっている。</p>			
実 施 額	事業費	546, 215 円	助成額	300, 000 円
事 業 内 容	<p style="text-align: right;">※★印は助成対象事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、昨年造成の花壇(中央通り～市道船見線)に、新たに宿根草、1年草を増殖し更なる充実を図る。 2、今年新しく着手した(市道龍宮通り～道道小樽港稲穂線)、カラマツ材の丸太で縁取り行い、腐葉土、黒土、肥料で花壇を造成、はなの植栽を行った。 3、花の選択、デザインは、春、夏、秋、それぞれの季節に合った種類を、散策のリズムの流れを配慮した、デザインの構成により、変化に富んだ活気のある花壇作りを目指した。 4、実施に当たっては、花壇のイメージデザインを基に、花カレンダーと、工程表を作って進められた。 5、以上の計画に基づき、参加して頂くボランティアの勉強会を開催し、実施に繋がった。 6、花壇の維持管理をボランティアの都合に合わせながら、当番制により行われた。 7、今年は、例年になく早い雪に見舞われ慌てたが、その後の暖かな日を逃さず、秋(11月下旬から12月上旬)、花壇の後片付け、来春に向けた球根の植え込み等、冬の準備を終える事が出来た。 			

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

○事業の日程について

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
5月11日	花壇造成の丸太の搬入、枠作り	5人	4人
5月16日	A、B、Cブロック各花壇、計6ヶ所ペチュニア植花	20名	18人
5月18日21日	土の搬入(Cブロック)ダンプ4t 計4回	延べ30人	延べ25人
5月23日	Aブロック花苗増殖(150株)	6人	6人
6月7日	セブンイレブン記念財団助成金による記念植花	30人	20人
	日々、当番制で、花ガラとり、水やりを行う	常時4名	常時2人
9月16日17日	秋咲の花植え込み	10人	8人
11月10日	花壇冬支度 整理	10人	10人
12月4日	チュウリップ、水仙。球根の植え込み	10人	6人

○事業評価について

1. 事業の目的の達成度

昨年(2015年)着手したAブロックは、本年の補植により、花の密度も増し、季節の移り替わりによる変化も明確になり、かなりの達成度を見る事が出来た。今年度(2016年)新しく着手したCブロックは、花壇の枠づくり、土入れから始め、全体の構成や、開花時の計画に若干の課題を残したが、来年に向け調整を予定している。

また、ボランティア参加が固定化されず、作業に関われるボランティアの補強が課題として残る。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

2年目を迎え、花壇づくりの趣旨に賛同して、参加された方々も、作業にも慣れ、花が咲く花壇の姿に、人々の称賛と応援の声に喜びと、満足感を実感し、また、花壇周辺の住人の方々からも、作業中に励ましと感謝の声を聞くことで、改めてこの事業の意義を実感させられた。また、今回の事業に対し、小樽市の「快適な環境づくり実践促進連絡会議」(会長増田英治様)より、平成28年9月2日奨励賞を頂きこれに関わったボランティア一同の励みになりました。

3. 今後の事業について

来年度は、Aブロックは日々花の育成に配慮し、不足している部分を補足しながら密度をたかめる。

Cブロックは、春一番に宿根草の根分けを行い、更に増植を加えてバランスなどを図りAブロックに近い花壇を目指す。

新たに、Bブロックを造成し、桜並木のバランスを考慮した、丈の低い花苗を植えこむ予定。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等